

2021年3月12日
JR東日本 仙台支社
福島県柳津町

「赤べこ伝説」発祥の福島県柳津町と連携し、無人駅の利活用を行います

福島県柳津町とJR東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」は、地域住民と一体となった只見線沿線の活性化を目的とし、今回会津柳津駅を舞台に、「赤べこ」にちなんだイベントや写真展・アート展等を行うことで地域を元気にするとともに、人々が賑わう新たな拠点づくりを目指します。

1 イベント概要

(1) 実施内容・期間

① 「赤べこ」ファミリーに新たな家族が誕生！子供の名前を募集します

柳津町内では「赤べこ」の親子が色々な場所に姿を現します。お父さんの名前が「福太郎」、お母さんが「満子」、子供が「もうくん」、「あいちゃん」です。この春、新しい家族が増えることが決まりましたので、駅をご利用になる皆様から名前を募集します。

募集期間中、会津柳津駅舎内に設置された「お名前募集」BOXに案を記入のうえ投函してください。「赤べこ」の名前は決定次第、柳津町ホームページでお知らせします。

(募集期間：2021年3月22日～4月5日、名前決定・お披露目：4月下旬予定)

■福島県柳津町ホームページ：www.town.yanaizu.fukushima.jp/



「赤べこ」親子



募集BOXイメージ

② 柳津町自慢の風景・名所の写真展

会津柳津駅舎内の壁面・天井に写真パネルを設置し、柳津町の自然・観光名所の写真を飾ります。

(期間：2021年3月22日～5月10日予定)



写真展イメージ

③ 竹灯籠で彩る駅舎・SLアート

圓藏寺参道で新年を温かく照らす竹灯籠が、会津柳津駅に初登場します。駅前には1974年まで只見線等で活躍したSLが保存されており、車両の周りにも竹灯籠を設置してフォトスポットを演出します。

(期間：2021年3月22日～3月28日)



竹灯籠



SL

④ その他イベント

2021年5月以降も地域の住民の皆様と一体となれるイベントを企画して参ります。内容が決まり次第、JR東日本または柳津町のホームページでお知らせします。

2 只見線 会津柳津駅

- (1) 所在地 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下大平
- (2) 開業日 1928年11月20日
- (3) 建物概要 木造1階建 延床面積127.1㎡



駅舎外観



駅舎内 待合室

【参考】

■福島県柳津町と「赤べこ伝説」

柳津町は会津地方の西部に位置し、1,200年の歴史がある福満虚空藏菩薩圓藏寺を中心に栄えた門前町です。今から400年ほど前に会津地方を襲った大地震で、虚空藏堂をはじめ民家が倒壊し柳津町も大被害を受けました。虚空藏堂再建のため木材を運ぶのに大変困り果てていたところ、どこからともなく力強そうな赤毛の牛の群れが現れ、木材運搬に苦勞していた黒毛の牛を助け、虚空藏堂を建てることができましたのです。一生懸命手伝った赤毛の牛を「赤べこ」と呼び、忍耐と力強さが伝わりさらには福を運ぶ「赤べこ」として多くの人々に親しまれるようになりました。これが柳津町が「赤べこ伝説発祥の地」と言われる由縁です。（由来や伝説は諸説あり）



位置図



柳津町の風景

ＪＲ東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」とは

2019年12月1日に、福島県会津地域の盛り上げや観光活性化を目的とした「会津若松エリアプロジェクト」が発足し、企画部門（支社など）と現業機関（駅や乗務員区など）の社員が系統を超えて相互に交流を図り、地域の特性を活かした施策を企画・実施しています。これまで磐越西線「快速あいづ」のプロモーションや会津の素材を活かした駅弁の開発等、地域と一体となった会津の活性化に取り組んでいます。